

ここいろ保育園における自己評価 令和4年度

評価項目	評価内容(課題・改善策)
保育目標	保育目標を意識して、各クラスの発達段階に合わせた指導計画の作成を行った。
保育について	園生活を安心して過ごすことができるように、食事や睡眠、活動内容など一人ひとりに無理のないような支援方法を職員で話し合いながら対応した。個々の発達段階や成長を理解して、生活や遊びの中で一人ひとりの子どもの気持ちを受け止めながら心の育ちを支援した。個人差はあるが、基本的な生活習慣の自立に向けて子どもたちの成長を促すことができた。集団生活の場である保育園で、子ども同士の関わりや言葉でのやり取りを覚え、自分の思いを言葉で表現できるように援助した。
行事	子どもたちが意欲的に楽しむことができるように、興味、関心を持つことができる内容や行事構成を工夫した。
研修	キャリアアップ研修や様々な研修を通して保育の質の向上に努めた。また、研修資料や研修報告を職員間で共有する時間を設けた。
家庭・地域との連携	子どもの家庭での様子を情報共有しながら保育園での様子を伝えて子どもの成長を共感し、信頼関係の構築に努めた。今後は個人懇談の機会を設けて保護者支援の充実を図っていく。
安全対策	年間避難訓練計画を基に毎月避難訓練を実施している。安全点検を毎日行い記録している。軽事故報告書やヒヤリハット報告書を職員間で共有して再発防止につなげている。
情報発信	園だよりやクラスだよりを配布して、保育園での活動内容を知らせている。食育活動については、季節ごとに給食だよりを配布し、季節の食材や調理の取り組みについて発信している。
情報保護	個人情報についての書類は、適切に保管している。職員は、業務に関して知り得た個人情報を漏らしてはならないことを認識して適切に取り扱っている。
調理内容	毎月給食会議を開き、調理側と職員間で子どもの喫食状況やアレルギー対応の更新、献立について情報交換しながら進めてきた。
健康管理	一年を通して感染症が流行った時期もあったが、掲示板や手紙で保護者に情報を提供して、家庭と保育園で協力して体調観察を行い大きな集団感染は防ぐことができた。保育室や玩具の消毒等衛生管理を徹底して行った。
事務管理	尼崎市の窓口となり、各家庭からの提出書類等、適切に扱い管理している。